

2026 年度 健康栄養学部 FD 活動方針・活動計画

2026 年度健康栄養学部では、全学の FD 方針に基づき、以下の取り組みを実施する。

1. 言語スキルの向上と生成 AI の活用

【目的】

・専門科目を学修する上で必要となる言語スキルや情報通信技術活用能力の向上を目的として、初年次科目および実験・実習・演習科目の充実を図る。

【実施内容】

- ・基礎演習 I・II において、言語技術や論理的思考力の育成を目的とした小論文コンテストを企画・実施するとともに、ICT リテラシーやプレゼンテーションスキルの育成を目的とする成果報告会を開催する。
- ・学修効率化の補助ツールとして利用が期待される生成 AI について、適切な使用方法を教授する方法及び資料を作成する。
- ・実験・実習・演習科目においては学部共通のレポートチェックリストを作成して活用するとともに、共通教育センター言語スキルチームと連携した講習会を実施して学生の文章化能力の向上を図る。

2. 105 分授業の検証と授業満足度の向上

【目的】

・105 分 13 週授業の安定運営を目的として、学生の学修状況（理解度、学習時間）に応じた授業およびカリキュラムの見直しを行う。

【実施内容】

- ・前年度実施の授業アンケートを基に授業科目ごとに改善課題を抽出し、満足度向上に向けた授業の見直しを行う。また、学生ヒアリングを実施して、カリキュラムや授業形式の適性を検証する。
- ・学部教員間の授業聴講、他学部優良教員の授業聴講を推進し、科目間および多分野の教授連携を図る。また、非常勤講師及び兼任教員と意見交換会を実施して情報共有を図り、授業運営に対する課題の有無やその解決方法を協議する。

3. 実践力と課題解決能力を育成するための地域連携活用

【目的】

・企業や自治体と連携したプロジェクトを授業に取り入れ、学生の実践力と課題解決能力の強化を図る。

【実施内容】

- ・山梨県の抱える食と健康の課題を PBL 型授業の題材に設定して、データ活用力と批判的思考力の強化を図る。また、公開講座および報告会を開催して、コミュニケーション力と協働力の向上、またキャリア教育への接続を図る（基礎演習Ⅱ、地域の食と栄養活動実習Ⅱ）。
- ・地域食材の専門家を特別講師に招き、各専門分野の知識や技術を組み合わせた学際的授業を展開する（やまなしの食）。
- ・企業の製品開発と連動する地域農産物を実習材料に取り入れることで授業内アクティブラーニングの質を高める。

4. 国家試験合格率向上に向けた学習支援の強化

【目的】

- ・管理栄養士国家試験の合格率向上を目的とした学習支援体制の強化と改善を行う。

【実施内容】

- ・これまでに実施している国家試験サポートを精査し、成績下位者に重点をおいた支援と取り組みを企画・実施する。
- ・授業外自己学習時間割の設定、個別指導、夏期および冬期休み期間を活用した少人数制補習講座を実施する。

以上